速 報

ヒト手指先の生物フォトン計測 —左利きの場合の発光特性について—

神 正照*

東北工業大学情報処理技術研究所

Measurement of Biophotons Human Finger Tips:
Luminescent Characteristics of Left-handed Persons

Masaaki JIN

Department of Informatics Laboratory, Tohoku Institute of Technology

【目的】

これまで生物フォトンの計測は、右利きの手指先の経穴を主として計測してきた。今回行った測定は、左利きのヒトはどのような発光特性があるか生体光情報分析を行ったので報告する。

【方法】

測定方法は、前回使用した極微弱生物フォトン計測装置を使用した。完全に外部からの光が入らないように暗室の中で行った。測定者は、手をきれいに洗浄し、次に手に光が当たらないように手袋をして15分位遮光する。測定中は手を動かしても良いように、回りは黒いカーテンで囲んでおく。測定装置の冷却は-20度にしておき、計測中は乾燥空気を流し温度を一定しておく。計測された生物フォトンは光電子計数法でカウントし、パーソナルコンピュータで計測する。

測定部位は、左右の人差し指の指腹と商陽穴の

ところである。

【結果及び考察】

被験者は鍼灸師の人である。図1は、左右の人差し指の発光特性を比較したものである。図の左側2つは、左手の人差し指の指腹と経穴（商陽穴）のところである。同様に右側は、右手の人差し指で計測したものである。図に示すように、右側の右手人差し指の方が生物フォトンの発光量が多いことが分かる。

測定結果は、左利きの人の場合、人差し指の指先から出る生物フォトンの発光量は従来の右利きの人より高い値を示していた。

【結論】

今回、手の指先の経穴を計測した結果、左利きの人でも右利きの人と同様に右手の人差し指の方が生物フォトン発光量が多いことが計測された。

図 左利きの人指し指（左右の比較）の生物フォトン発光量

* 〒982 仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学情報処理技術研究所
☎ 022-229-1151 Fax 022-229-0005 E-Mail: mjin@titan.tohtech.ac.jp